

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
BPMC(フェノブカルブ)	バッサ	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ミツクリクロタモゴバチ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
BPMC(フェノブカルブ)	バッサ	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
BPMC(フェノブカルブ)	バッサ	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
BPMC(フェノブカルブ)	バッサ	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	クモ類	キクツキコモリグモ	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H21試験)14、21日(りんご)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
NAC(カルバリル)	デナボン,マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	アオムシサムライコバチ	少ない		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は28日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:28日(りんご調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は28日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は14日以上		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC(カルバリル)	デナボン,マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は56日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は14日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC(カルバリル)	デナボン,マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネラヌスカブリダニ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は56日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)若虫:14日(リンゴ調査結果)	'野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安'より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	エルビニアカクトボエラ	菌は×	エルビニアカクトボエラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
NAC	マイクロデナボン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
XMC	マクパール	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	強い毒性あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H21試験) 21日(りんご)、28日(なし)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 成虫:6日、21日(りんご調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H21試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)若虫:7日、21日(りんご調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アラニカルブ	オリオン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカムシ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネラヌスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
オキサミル	バイデート(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は×、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	エルビニアカロトボラ	菌は	エルビニアカロトボラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
カルボスルファン	アドバンテージ(粒)	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	あり		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H21試験)35~42日(もも)、3~14日(だいち)、14日(「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:3~14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:3~14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコムコバチ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ショクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験) 幼虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験) 幼虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 若虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 幼体14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 [出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの]

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	ラービン	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
チオジカルブ	リラーク	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
ベンフラカルブ	オンコル	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	クモ類	クモ類	なし(粒剤)		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	あり		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H21試験)3日(だいず、キャベツ)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は70日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:3~7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験)幼虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は84日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。
 (注意: 天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 幼虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は56日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は28日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は56日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 若虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	エルピニアカロトボラ	菌は	エルピニアカロトボラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ネマトーダ類	幼虫は×、影響のなくなるまでの期間は7日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネット	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	パーティシリウムレカニ	胞子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオリジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) : 死亡率0~25%、 : 25~50%、 : 50~75%、×:75~100%、(室内試験) : 死亡率0~30%、 : 30~80%、 : 80~99%、×:99~100%

化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(カーバメート系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
メソミル	ランネート	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009
メソミル	ランネート	殺虫剤	カーバメート系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	日本バイオロジカルコントロール協議会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 x:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 x:99~100%